

筑波大学人文社会系 研究発信月間

第9回 日本語コミュニケーション 研究会

日時：11月4日（土）

9:00-17:30

場所：筑波大学

筑波キャンパス

共同利用棟A601教室

科学研究費補助金 基盤研究(C)研究課題番号15K02630「「言い換え」に関する語彙・表現の基礎的研究」(代表 小野正樹)、基盤研究(C)研究課題番号25370576「日本語の配慮表現に関する学習者コーパスの作成と対照研究」(代表 牧原功)

連絡先

小野正樹(筑波大学人文社会系)
ono.masaki.ga@u.tsukuba.ac.jp

【研究発表】

9:00-9:30 岩崎透(筑波大学大学院生)

「日本語母語話者、ウズベク語母語話者双方の顧客への配慮表現の方略に関する一考察」

9:30-10:00 Chuhan Anubhuti(筑波大学)

「日本語学習者の作文に対する評価基準について」

10:00-10:30 李奇楠(北京大学)

「「なる」構文について」

【シンポジウム】 コミュニケーションにおけるフレキシビリティ

10:45-11:15 小野正樹(筑波大学)

「フレキシビリティと言語学・日本語教育の可能性」

11:15-11:45 高揚(筑波大学大学院生)

「「断り」における配慮表現のフレキシビリティ—日中対照を通して—」

11:45-12:15 大和啓子(群馬大学)

「依頼の言語行動選択におけるフレキシビリティ」
(休憩)

14:00-14:30 伊藤秀明(筑波大学)

「第二言語習得研究におけるフレキシビリティ
—対のある自他動詞の習得の観点から—」

14:30-15:00 Lina Abdelhamid Ibrahim Ali(カイロ大学)

「配慮表現におけるフレキシビリティの観点から見た
自他動詞の選択について—異文化間語用論の観点から—」

15:15-15:45 王夢蕾(筑波大学大学院生)

「パラレルコーパスに基づく言語的ユーモアに関するフレキシビリティの
日中対照研究」

15:45-16:15 牧原功(群馬大学)

「ポライトネスにおけるフレキシビリティ
ネガティブポライトネスとポジティブポライトネスの選択性—」

16:15-16:45 山岡政紀(創価大学)

「ポライトネス・ストラテジーにおける表現選択の慣習化をめぐって」

17:00-17:30 ディスカッション

司会 Vanbaelen Ruth(筑波大学)



ICR

人文社会国際比較研究機構
Institute for Comparative Research in Human and Social Sciences